

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営理念

グローバルな市場で選ばれる電解銅箔メーカーとして、永続的な発展を目指す

生産数量
9,500^{トン}営業利益
0百万円EBITDA
1,200百万円

② 中長期の経営戦略

1. 高付加価値分野へのシフト

高性能車載電池用銅箔や高周波基板用銅箔に注力し、収益性の高い製品の販売比率向上を目指す

3. 連結子会社との事業シナジー拡大

米国子会社で車載電池用銅箔生産開始。LCY Technology Corporationとの業務提携で地理的ポートフォリオ拡大と技術協力を推進

2. 技術力の更なる強化

プロセス技術開発で品質向上・コスト競争力を確保。次世代LIB・全固体電池対応製品や5G・高密度実装対応製品の開発を推進

4. ESG取り組み強化

銅材料100%再利用とxEV普及寄与で脱炭素社会実現に貢献。リサイクル品活用で持続可能な社会構築に取り組む

③ 対処すべき課題

① 経営危機からの脱却

- ・ 連続赤字の解消と収益性向上が急務
- ・ 短期借入金返済困難な財務状況の改善
- ・ 継続企業の前提に関する重要事象への対応実施

② 次世代製品開発

- ・ 全固体電池など次世代LIB対応銅箔の開発・市場投入
- ・ 5G・高密度実装対応の高機能回路基板用銅箔開発
- ・ 市場ニーズを先取りした製品化推進

③ 組織・人材基盤整備

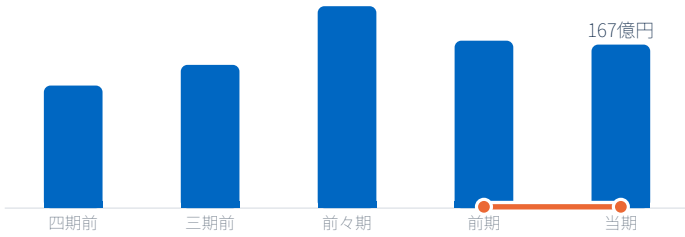
- ・ グループ全体のリスク管理機能強化と内部監査充実
- ・ コンプライアンス徹底とガバナンス充実
- ・ 多様な働き方支援と人材育成教育で組織力向上

面で使えるポイント

- ・ 車載電池用銅箔で2022年から2035年年平均11.8%成長予測市場に対応し、電動自動車普及に貢献する事業展開
- ・ 全固体電池や5G高周波基板など次世代技術に適応した新製品開発を継続推進する技術志向
- ・ 米国子会社での車載電池用銅箔生産やLCY Technologyとの業務提携で、グローバル事業拡大と競争力強化を推進中

EDINETコード E36698

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

要するに

当社及び子会社 2 社（連結子会社 1 社、非連結子会社 1 社）で構成され

主力事業・セグメント

・ 金属製品（セグメント未開示）

強み・特徴（公開データから）

・ -（判定に必要な数値が未開示）

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

暗記する数字3つ

連結売上高
167億円営業利益率
▲6.2%財務健康度
7点 / 100点

将来性 雨 / 就活偏差値 34.7（当サイト算出の参考指標）

平均年収
541万円平均年齢
44.8歳平均勤続
12.7年

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

